



経営管理委員会 会長
森 映 一



代表理事 理事長
関 谷 幸 男

皆さまには、平素より私ども愛媛県信用農業協同組合連合会（ＪＡ愛媛県信連）をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も当会をより深くご理解いただくため、当会の経営方針、業務内容、最近の業績などについてまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。ぜひ、ご一読いただき、当会に対するご理解をより深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和 23 年の設立以来、農業金融における県域組織として、また農業および地域の発展を支援する地域金融機関として安定的運営を続けてまいりました。これもひとえに会員はもとより関係機関、地域の皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、わが国の経済は、安倍政権が掲げた経済政策、日銀による大規模な金融緩和策の効果により、円安・株高が進行し、企業収益が改善するなど自律的回復に向けた明るい兆しが見えております。

一方、農業情勢につきましては、組合員の高齢化・後継者不足に加え、今後の日本農業の経営基盤を揺るがしかねないＴＰＰ（環太平洋連携協定）交渉参加など、深刻な問題に直面している状況にあります。

また、ＪＡバンクを取り巻く環境につきましても、人口減少時代の到来による市場縮小懸念から、金融機関同士の競争がますます激化しております。

このような中、県下 12 総合ＪＡと当会で構成する「ＪＡバンクえひめ」が信頼され、地域金融機関として選ばれるために、県下ＪＡと当会の一体的事業運営態勢をより一層強化し、皆さまの負託に応えるとともに、今後も皆さまとの絆を大切にしていきたいと考えているところであります。

平成 26 年度は、中期経営計画（25 ～ 27 年度）の中間年度にあたります。「ＪＡとともに食と農業を通じて、地域の皆さまに選ばれる金融機関、ＪＡバンクえひめを目指します」の目標のもと、系統金融機関として独自の存在感を発揮し、よりお客さまの目線に立ったサービス提供と一層の健全性の確保に取り組み、「ＪＡバンクえひめ」が地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。

今後とも、役職員一丸となって邁進する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成 26 年 7 月